

エコパークかごしま（仮称）の着工について

薩摩川内市川永野地区に整備する産業廃棄物管理型最終処分場「エコパークかごしま」（仮称）については、7月11日、建設工事に着手しました。

平成19年5月の候補地選定から4年余りが経過し、この間、多くの皆さまの御理解と御協力を賜り、深く感謝申し上げます。

建設工事に当たっては、地域の方々の安全に十分配慮するとともに、情報公開に努め、平成25年度の完成を目指して、最新の技術を導入した安全性の高い全国でもモデルとなるような施設の整備に取り組んでまいります。



エコパークかごしま（仮称）完成予想パース

建設工事中の環境保全対策・交通安全対策

管理型処分場の建設に当たっては、関係自治会と締結した環境保全協定に基づき、建設地周辺や下流域の環境への影響を低減するための環境保全対策、地域住民の方々の交通事故等の発生を防止するための交通安全対策を講じてまいります。

環境保全対策

- ・ 路面及び工事用車両の清掃及び散水により粉塵発生を防止します。
- ・ 低公害車等の使用、アイドリングストップの励行などにより排出ガスの発生を抑制します。
- ・ 仮設沈砂池の設置などにより河川の水質汚濁を防止します。
- ・ 低騒音、低振動型の機械の使用などにより騒音、振動を防止します。

交通安全対策

- ・ 地元車両を優先します。
- ・ 法定速度、規制速度を遵守します。
- ・ 工事用車両は、通勤・通学時間帯を避けて通行します。
- ・ 違法停車、違法駐車を禁止します。
- ・ 車両表示により工事用車両を識別できるようにします。
- ・ 工事用車両の通行経路を設定します。

エコパークかごしま安全監視委員会について

県は、公社が行う管理型処分場の建設及び運営に当たって、地域住民の安全の確保及び生活環境の保全を図るため、関係自治会や薩摩川内市と締結した環境保全協定に基づき、「エコパークかごしま安全監視委員会」を設置するとともに、第1回委員会を5月31日、薩摩川内市内で開催しました。

安全監視委員会の役割・今後の開催

○ 管理型処分場の施工状況等の調査・検討及び公表

管理型処分場の施工状況等について、処分場内に立ち入るなど調査・検討を行うとともに、その結果を公表します。

○ 今後の安全監視委員会の開催

委員会は、年4回程度の開催としますが、委員から要望があった場合には、必要に応じて委員会を開催することとします。

安全監視委員

関係自治会の代表、学識経験者、薩摩川内市の11名で構成します。

【関係自治会の代表】

- 有馬 純郎（川永野自治会副会長）
- 有馬 茂（川永野自治会員）
- 吉竹 千秋（木場茶屋自治会長）
- 吉留 淳平（木場茶屋自治会副会長）
- 大平 和行（百次大原野自治会長）
- 八牟禮慎作（百次大原野自治会員）



第1回安全監視委員会の状況

【学識経験者】

- 平田登基男（鹿児島工業高等専門学校名誉教授・土木工学）
- 樋口壯太郎（福岡大学大学院工学研究科教授・衛生工学）
- 北村 良介（鹿児島大学大学院理工学研究科教授・土木工学）
- 松村 和雄（鹿児島大学大学院理工学研究科教授・建築学）

【薩摩川内市】

- 寺園 良介（薩摩川内市市民福祉部環境課長）

（敬称略，○：委員長）

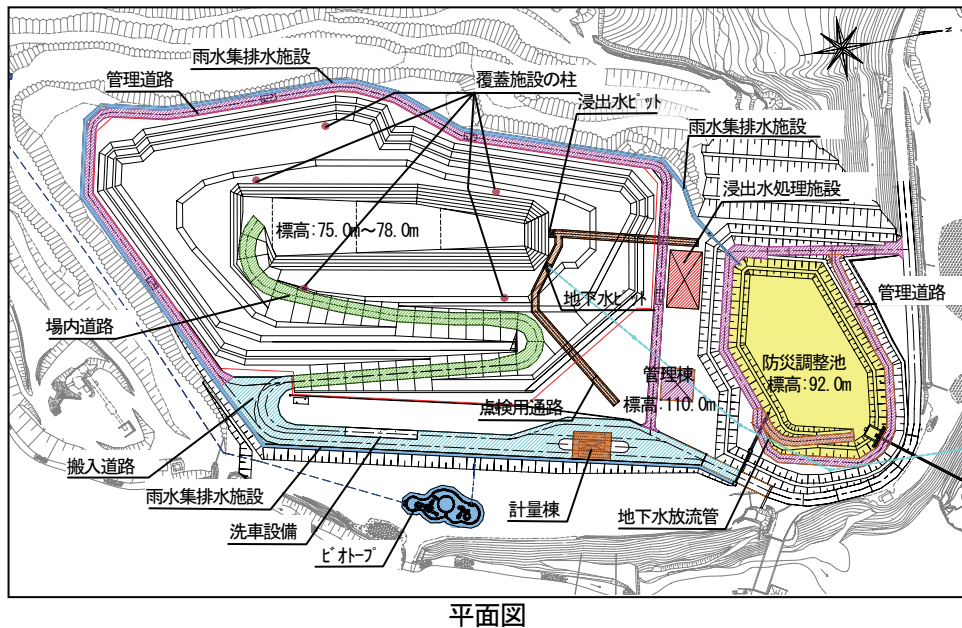
情報公開

安全監視委員会の協議内容や調査・検討結果等については、県及び公社ホームページに掲載するとともに、「環境整備公社だより」でもお知らせします。

また、委員会は、原則として公開することとしています。

実施設計で定めた主要施設の構造について

最新の技術を導入した安全性の高い全国でもモデルとなるような施設の整備を目指します。



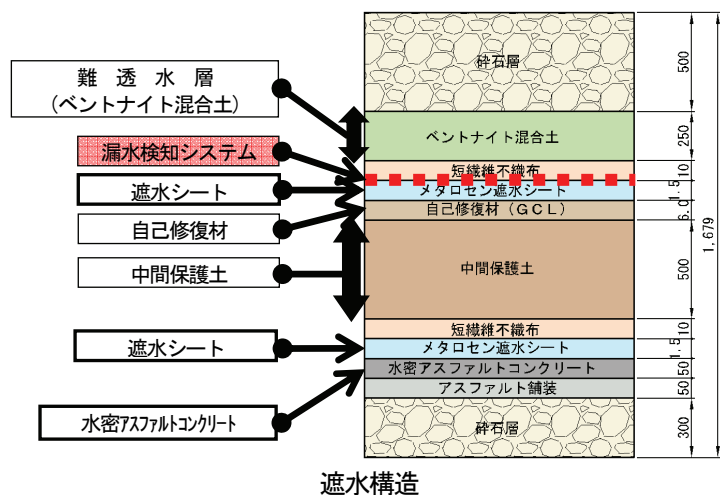
覆蓋施設

覆蓋施設の構造については、建築基準法に基づく構造解析に加え、敷地周辺の過去の地震活動や地盤条件等を考慮して解析に用いる地震波を選定し、選定した地震波をコンピュータプログラム上で地盤を揺らして安定性を検証する動的解析を実施し、安全性の高い設計に取り組みました。

また、覆蓋施設は、埋立地内の5本の柱を硬質な安山岩塊状部に設置し、浸出水が集まる範囲には設置しないこととしました。

遮水工

基本設計で定めた2重の遮水シート及び水密アスファルトコンクリートに加え、遮水シートの保護材に難透水なベントナイト混合土を用いるなど、多重の遮水機能を備えた構造としており、万全な遮水工を構築することとしました。



東大谷自治会への説明会及び先進地視察の実施について

説明会

県と公社は、東大谷自治会からの要請により、5月21日、6月11日及び7月29日に、これまでの経緯、立地可能性等調査、基本計画、基本設計及び管理型処分場の運営等について、処分場の模型や廃棄物のサンプルなどを使って説明を行いました。

説明会での主な意見や質問

- ・ 処分場に搬入される廃棄物の検査については、厳格に対応してほしい
- ・ 搬入車両に対する交通安全の指導を徹底してほしい
- ・ 地震等の自然災害に対する建物の構造基準の考え方はどうなっているのか



説明会の状況

先進地視察

7月11日から12日にかけて、管理型処分場の施設や管理運営及び環境対策の実施状況について理解を深めていただくため、公共関与による管理型処分場であるクリーンパークさが（佐賀県唐津市）の施設や、埋立地の跡地に整備された今津運動公園や体験農園（福岡市西区）などの視察を行いました。

視察には、18名の方が参加され、視察後のアンケートでは、ほとんどの方が施設に対するイメージが良くなった、また、参加者全員の方から視察は有意義であったとの意見がありました。

大原野自治会への説明会について

県と公社は、5月28日に、大原野自治会からの質問書及び意見書に対する回答について3回目の説明を行いました。

説明会での主な意見や質問

- ・ 集排水管の仕組みや耐久性について
- ・ 次回の説明会は、シートや集排水管の実物を使って説明してもらいたい

問い合わせ先

○財団法人鹿児島県環境整備公社
〒895-8501 薩摩川内市神田町1番22号
電話 0996-21-1220

○鹿児島県環境林務部廃棄物・リサイクル対策課
電話 099-286-2650

※この「環境整備公社だより」は、当公社ホームページ (<http://www.ep-kagoshima.or.jp/>) にて閲覧いただけます。